

宮川の風 第63号

平成30年10月26日(金)発行

宮川小学校校長室からのたより

子育てをされていてむなしくなることはありませんか。子どものために自分の時間を削って頑張っているのに、子どもから文句を言われたり、頭を悩ませながらメニューを考えて料理しても、「おいしい」の一言もなかったり…。こんなに頑張っているのに子どもは感謝しているのだろうか、なんて思ったことはありませんか。これからの成長過程で、特に思春期を迎える頃にはそんな場面も多くなるかもしれません。せめて感謝の気持ちを感じさせてほしいと思うことは当然です。

宮川小の子どもたち！

ご飯を食べるときには、「いただきます」や「ごちそうさま」を心を込めて言いなさいよ。

用事があるとき車で送ってもらったり迎えに来てもらったりしたときは「ありがとう」の感謝の言葉を言いなさい。

特別な日（誕生日や父の日、母の日など）には、感謝の気持ちを言葉と態度で表しなさい。

裏面の話をお読みください。

親子の関係や家族の空気は、家族みんなできつていくものです。特に、子どもが小さい時の家族のふれ合いが大切だと思います。贅沢は必要ありません。家族で一緒に何かをする。楽しいことだけでなく、きついことも一緒にする。何かに感動する。何かに悲しむ。一緒に笑う。一緒にじっと時を過ごす。そんなことが、子どもの心に栄養を与え、感謝や思いやりなどの優しさを生んでいくのかもしれません。

秋晴れの日がまだまだ続きそうです。アウトドアの活動には、最適な季節です。家族みんなが休みの日、何かを一緒にしてみませんか。

車のCMでこんな言葉がありました。

「モノより思い出！」

子どもも職員も頑張っています。

11月4日にある宮川校区文化祭にダンスクラブの子どもたち、吹奏楽部の子どもたち、あいご会の役員の子供たちが出演します。今、練習を頑張っています。当日は、多くの地域の方々に素晴らしい演技・演奏・発表を披露してくれます。

職員も有志で「職員バンド」を組んで、歌と演奏を披露するために練習に取り組んでいます。

その他、皇徳寺中学校吹奏楽部の演奏や地域の方々の踊りやコーラスもあります。

ぜひ、多くの方々においでいただき、子どもたちや職員への声援をお願いします。

11月8日は「いい歯の日」(日本歯科医師会)です。生涯自分の歯で食べられるようにするには、子どもの時期が大切です。**むし歯予防のために歯みがきや定期検診をしっかりと行うとともに、むし歯がある場合は今すぐに治療を始めてください。**

ある日のできごとから



6年生が来週の月曜から修学旅行に出かけます。台風26号の進路が気になりますが、天気予報では雨の心配はないようです。

先日、修学旅行の計画をグループで話し合っていました。子どもたちにとってはメインイベントであるグリーンランドでの行動計画でした。絶叫系のアトラクションも行動計画に盛り込まれていました。「絶叫系も大丈夫なの？」と尋ねると「はい！」という子もいれば「見とくから」という子もいました。安全に気を付けながら思いっきり楽しんでほしいと思います。

修学旅行は、ただのお楽しみではありません。活動をとおして集団の規律や公共のマナーを学んだり、自然・歴史・文化を学び今後の学習に生かすことなども大切なねらいです。そして、最も大切にしてほしいことは、6年生全員の仲間意識・助け合い・思い出づくりです。全員が楽しめる修学旅行でなければなりません。相手を思う気持ち、声をかける勇気、全員の友情を育む高い意識を大切にしてほしいと思います。

みんなの心で全員が笑顔いっぱい1泊2日になることを信じています。

(文責；鹿児島市立宮川小学校長 松永幸二)